

# 相模原商工会議所 景気観測調査結果

(令和2年4月～6月)

**新型コロナウイルス感染症の影響は更に深刻化し、全業種に渡り業況DIが落ち込む。収束の見通しが立たない中、先行き不安を訴える声が多い。**

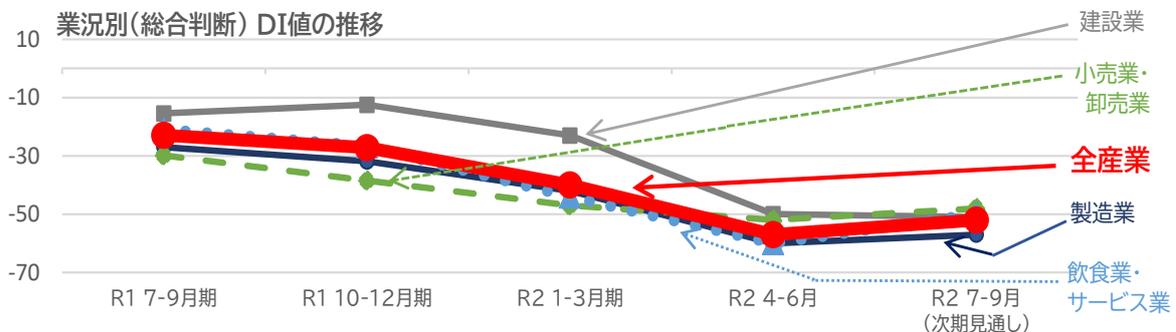
## ポイント

- ▶ 令和2年4月～6月期の総合業況DIは▲57と、前期▲40から17ポイントの悪化。前期から深刻な状況であった飲食業・サービス業(前期▲44・今期▲60)および製造業(前期▲42、今期▲60)と、小売業・卸売業(前期▲47・今期▲52)も更に下落し、非常に厳しい状況である。前期、新型コロナウイルスの影響が少なかった建設業(前期▲23・今期▲50)も、急速に悪化した。約2/3の事業者が業況悪化を訴え、業況が良好な事業者は5%に満たない。
- ▶ コメントによると、新型コロナウイルス感染症の影響が全業種で深刻化している。小売業や飲食業・サービス業の多くは需要消失に近い状況の中で感染対策に手間を取られ苦境が続いている。食料品や通販など巣ごもり需要に関する業種では業況が好調な事業者もあるが、一部に留まる。製造業では取引先の操業低下や投資延期により受注が減少。建設業でも民間需要の減少に苦しんでいる。
- ▶ 次期見通しについては、総合業況DIは▲52と、今期▲57から5ポイントの改善。全業種に渡り、現在が不況の底と見ている事業者が多く、建設業(今期▲50・次期▲51)のみ横ばいを示したものの、製造業(今期▲60・次期▲57)、小売業・卸売業(今期▲52、次期▲48)、飲食業・サービス業(今期▲60・次期▲50)で、今後は緩やかに改善する見込み。ただしコメントには「先が見えない」という意見も多く、消失した需要や変わってしまった顧客の消費行動が戻らないのではないかという懸念もあり、楽観できない状況が続く。

## 各業界から寄せられたコメント

- ・【プレス金型用部材加工】主要顧客がほとんど操業していない。
- ・【管工事】今月までは注文請済の工事が多かったため順調だったが、新型コロナウイルス発生以降の受注がない。
- ・【衣住食料品販売】行楽シーズン商品の売上減少が大きく売り上げダウン。
- ・【クリーニング】時短営業や消毒にかかるコストや手間が増えたが、消費者の利用は減。

業況別(総合判断) DI値の推移



	前々期概況 (R1.10-12)	前期概況 (R2.1-3)	今期概況 (R2.4-6)	次期見通し (R2.7-9)
製 造 業	▲ 32	▲ 42	▲ 60	▲ 57
建 設 業	▲ 13	▲ 23	▲ 50	▲ 51
小 卸 業	▲ 39	▲ 47	▲ 52	▲ 48
飲 食 業	▲ 27	▲ 44	▲ 60	▲ 50
全 業 種 ( 総 合 )	▲ 27	▲ 40	▲ 57	▲ 52

DI値 91以上	DI値 80~11	DI値 10~▲10	DI値 ▲11~▲30	DI値 ▲31以下

調査期間：令和2年4月1日～6月31日

回答率：31.5%

回答者数：1,221件

調査対象：当所会員事業所3,873社

### <<景気観測調査>>

前年度同時期との景況を比較し、「良い／悪い」などの指標を数値化し景気動向を調査。

「良い」の回答数の割合から「悪い」の回答数の割合を引いて算出した数値(DI値)を用いる